

データベースに関する用語の説明として妥当なのは次のうちどれか。

1. 「SQL」とは、木 (ツリー) 構造型データベースを構築・利用するためのコンピュータ言語で、データの意味や構造を定義するために「タグ」と呼ばれる特定の文字列を用いるマークアップ言語の一種である。
2. 「Z39.50」とは、ウェブ上で検索可能なデータベースのデータ構造を定めた国際規格で、複数のデータベースの相互運用性を確保する目的で W3C (World Wide Web Consortium) が開発したものである。
3. 「レコード長」とは、図書館を含むデータベース作成機関において、データの記録に関する事務を指導・管理し、データベースへのデータ入力者を監督する職のこと、又はその職に就いている人のことである。
4. 「エンドユーザー検索」とは、専門家や研究者のような最も広範で詳細な情報を求める利用者でも満足できるように、代行検索者 (サーチャー) が、特定の主題に関する情報を徹底的・網羅的に収集する検索のことである。
5. 「データマイニング」とは、大量のデータ中に隠れている法則、因果関係、パターンなど、情報検索技術のみでは得がたい価値ある情報を、データベースから導出・発見するためのデータ処理技術のことである。

分類に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

1. 「固定式排列」とは、資料をまず形態別に分け、次いで受け入れ順に並べる方式で、排架位置は半永久的に決まる。
2. 「書架分類」とは、分類目録の記入を体系的に排列するための書誌上の分類である。
3. 「図書の分類」は、知識の分類と完全に一致していなければならない。
4. 「分類記号」は、分類表に不可欠の要素であり、どの分類表も文字又は数字のただ1種だけからなる「純粹記号」を使用している。
5. 「移動式排列」は、「固定式排列」より歴史が古い方式である。

正答 1